

石狩市食育推進計画第1期・第2期アンケート結果比較

(R3.10.19 到着分まで集計)

■第1期

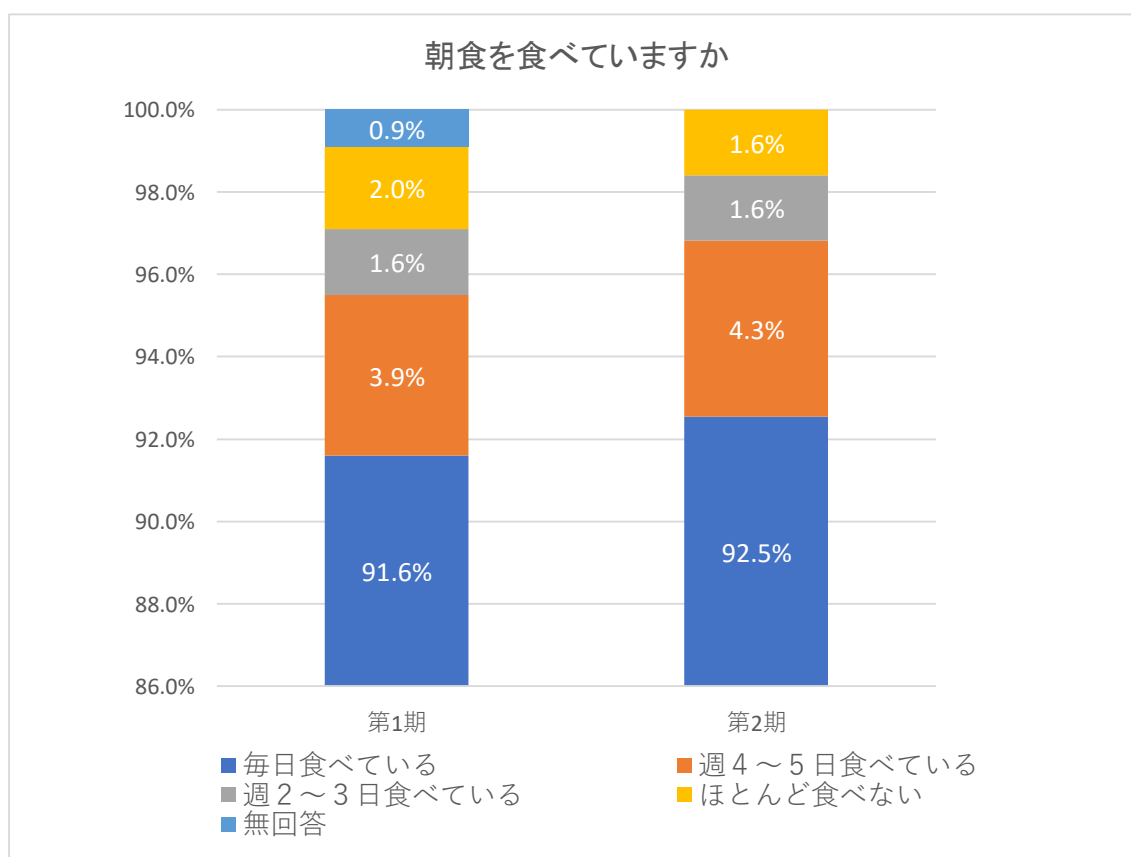
平成28年10月実施。調査対象は石狩市内の小学校6校の1年生、3年生、5年生と中学校4校の1年生、2年生の保護者が子どもについて回答する方式で、1,987件に配布し、1,287件(回答率65.1%)の回答がありました。

■第2期

令和3年10月実施。調査対象は石狩市内の小学校10校の2年生、4年生、6年生と中学校7校の1年生、2年生の保護者が子どもについて回答する方式で、2,670件に配布し、1,006件(回答率37.7%)の回答がありました。

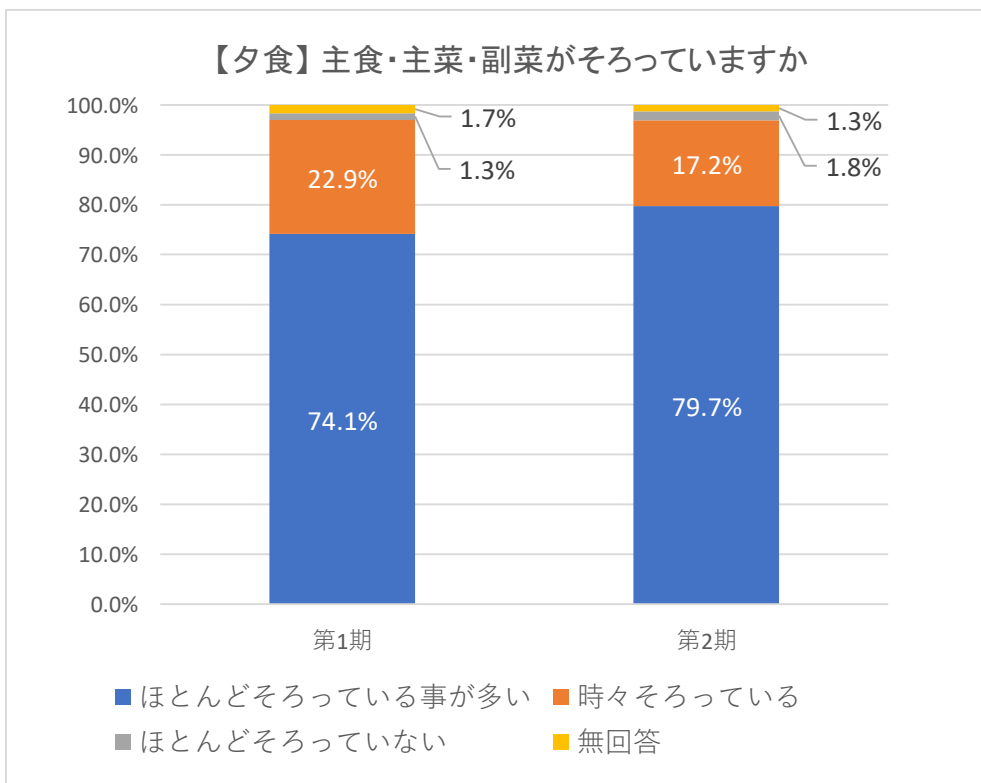
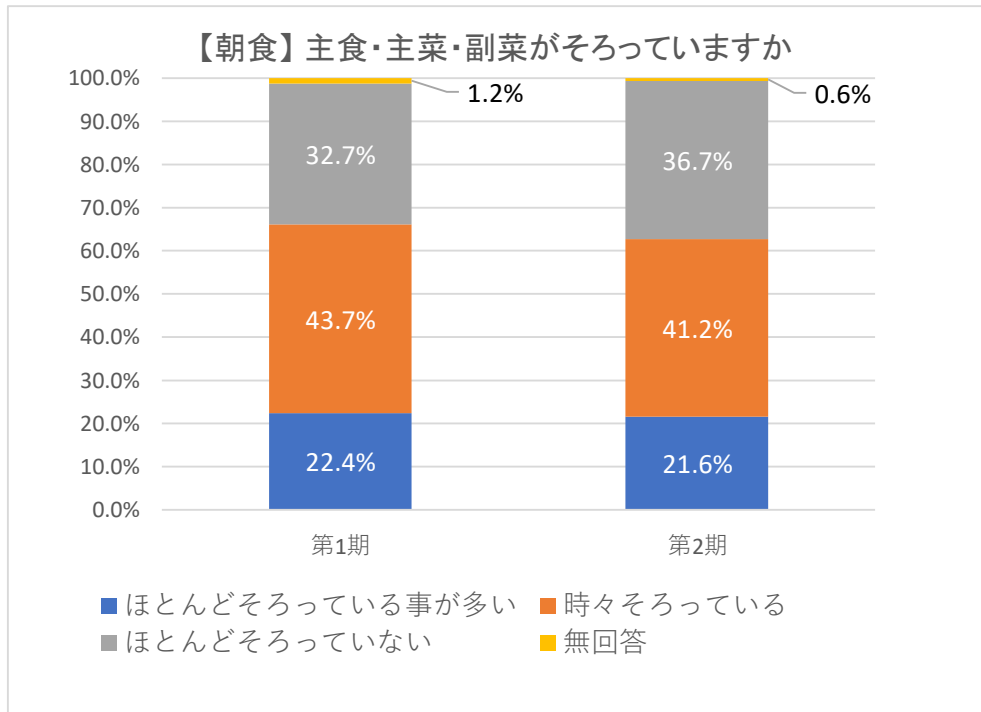
(1)朝食の欠食について

7.5%の児童生徒が毎日、朝食を食べていない。(前回と同じ)



(2) バランスの取れた食事の習得

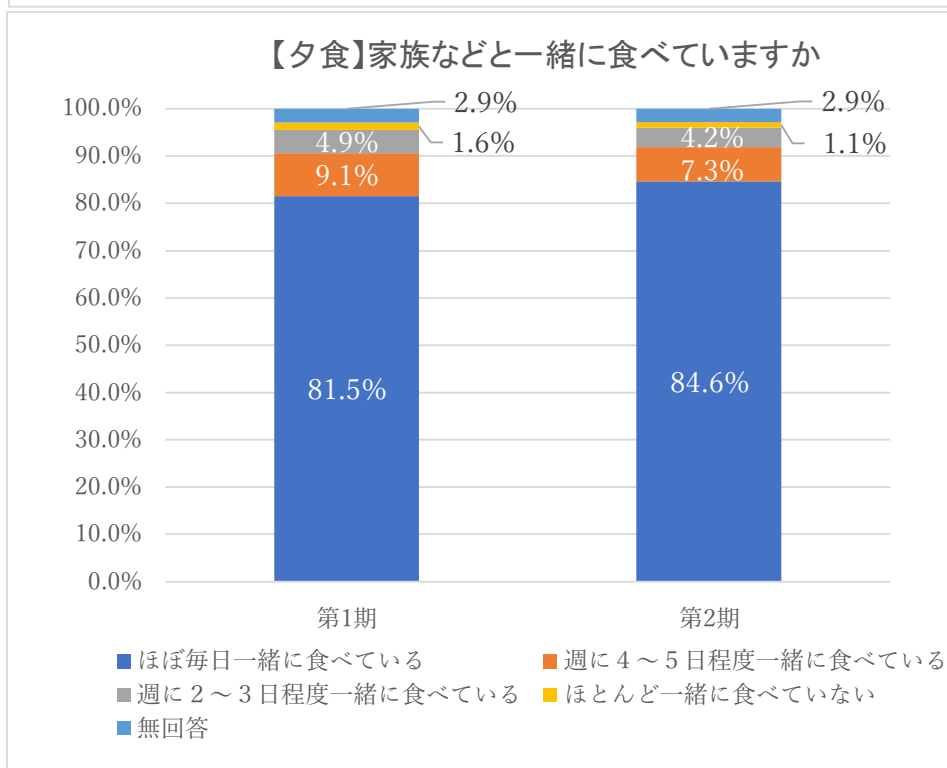
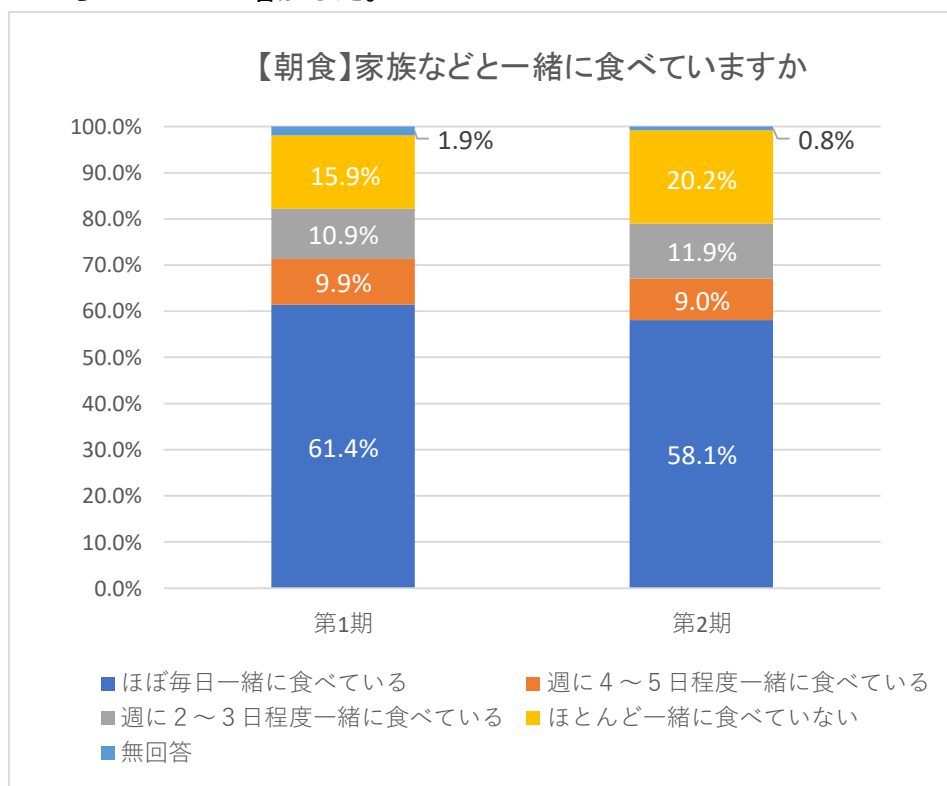
朝食において、主食・主菜・副菜がそろっている家庭は 22.4%から21.6%に微減。夕食においては、主食・主菜・副菜がそろっている家庭は 74.1%から79.7%に増加した。



(3) 共食について

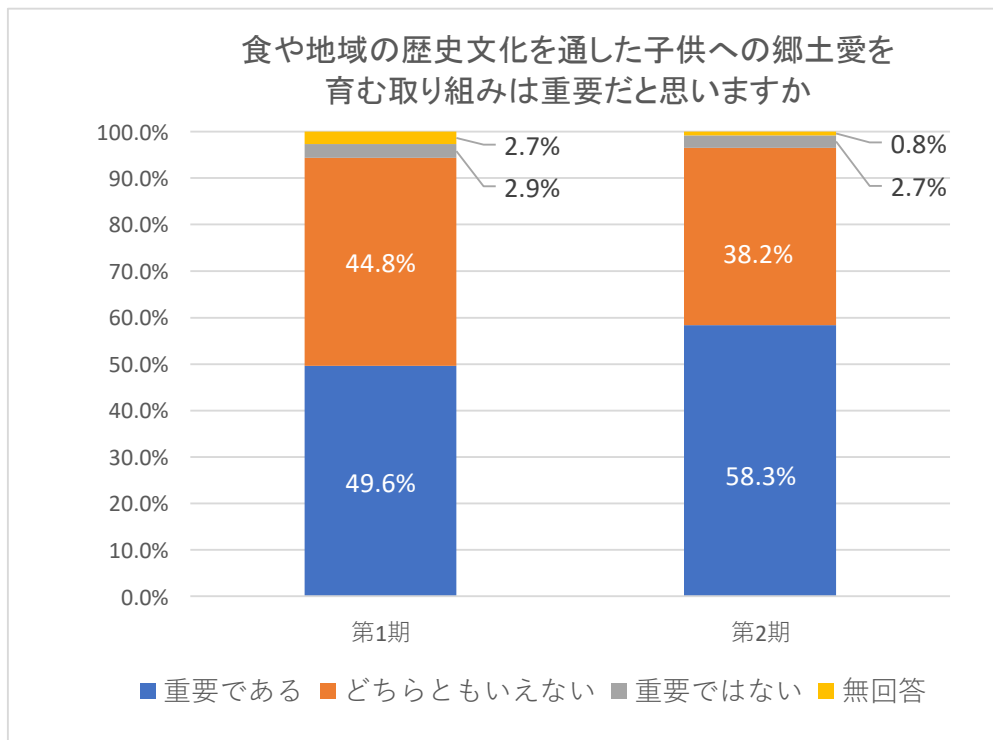
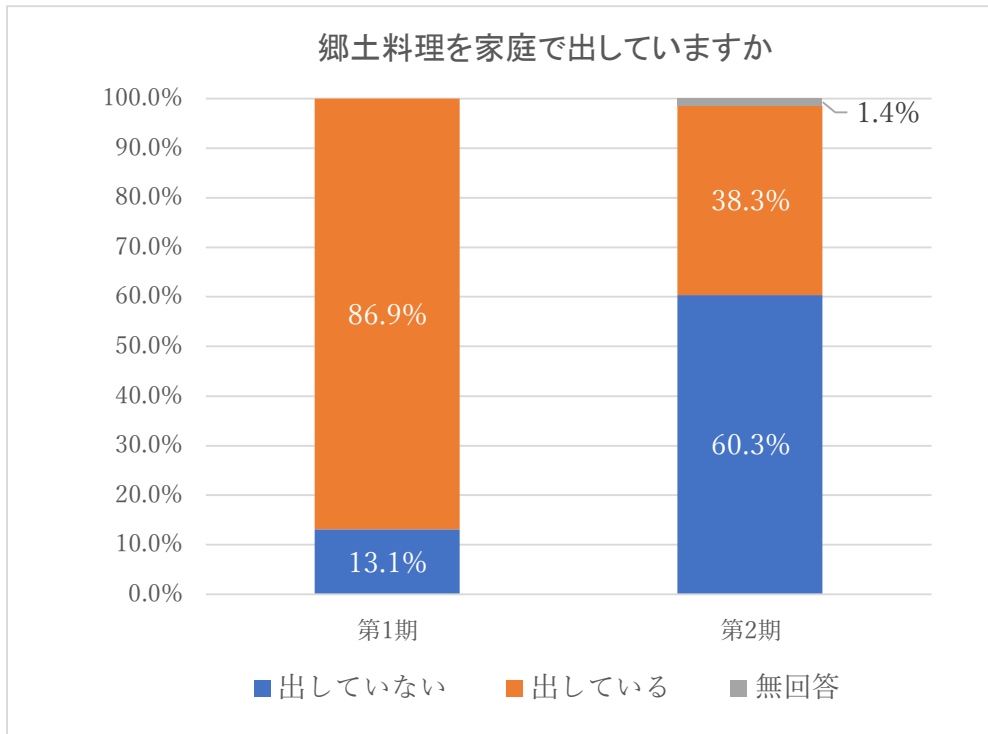
朝食においては、ほとんど一人で食べる児童生徒が15.9%から20.2%に増加。

夕食においては、家族などと一緒に食べている割合は、週に4～5回を合わせると90.6%から91.9%に増加した。



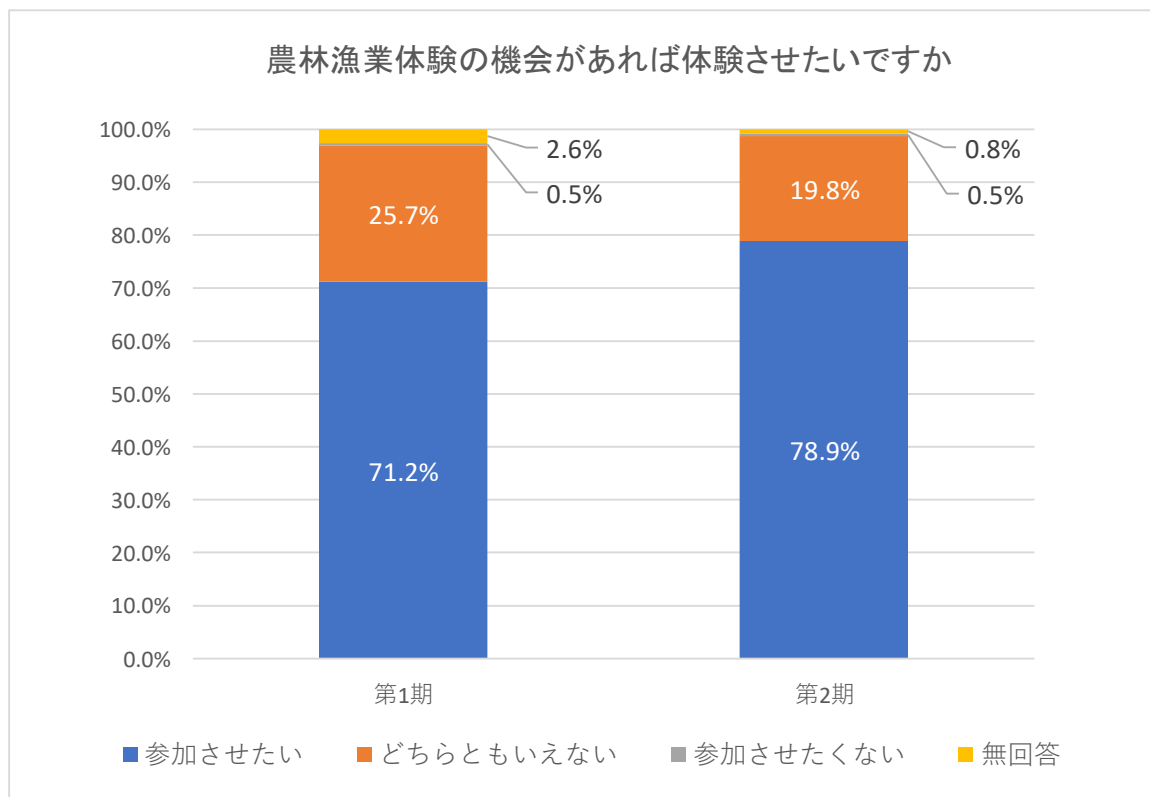
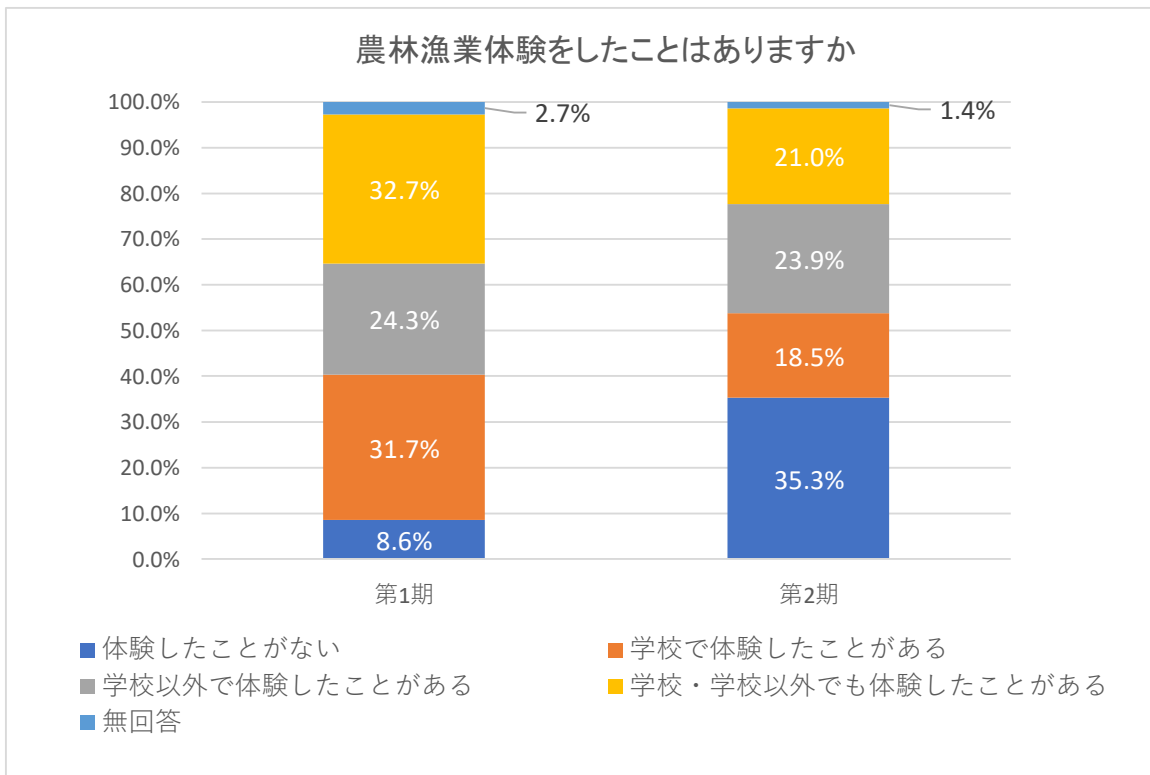
(4) 郷土料理について

郷土料理を出している家庭は86.9%から38.3%に大幅減少した。食や地域の歴史文化を通した子供への郷土愛を育む取り組みは重要だと思う割合は49.6%から58.3%に増加した。



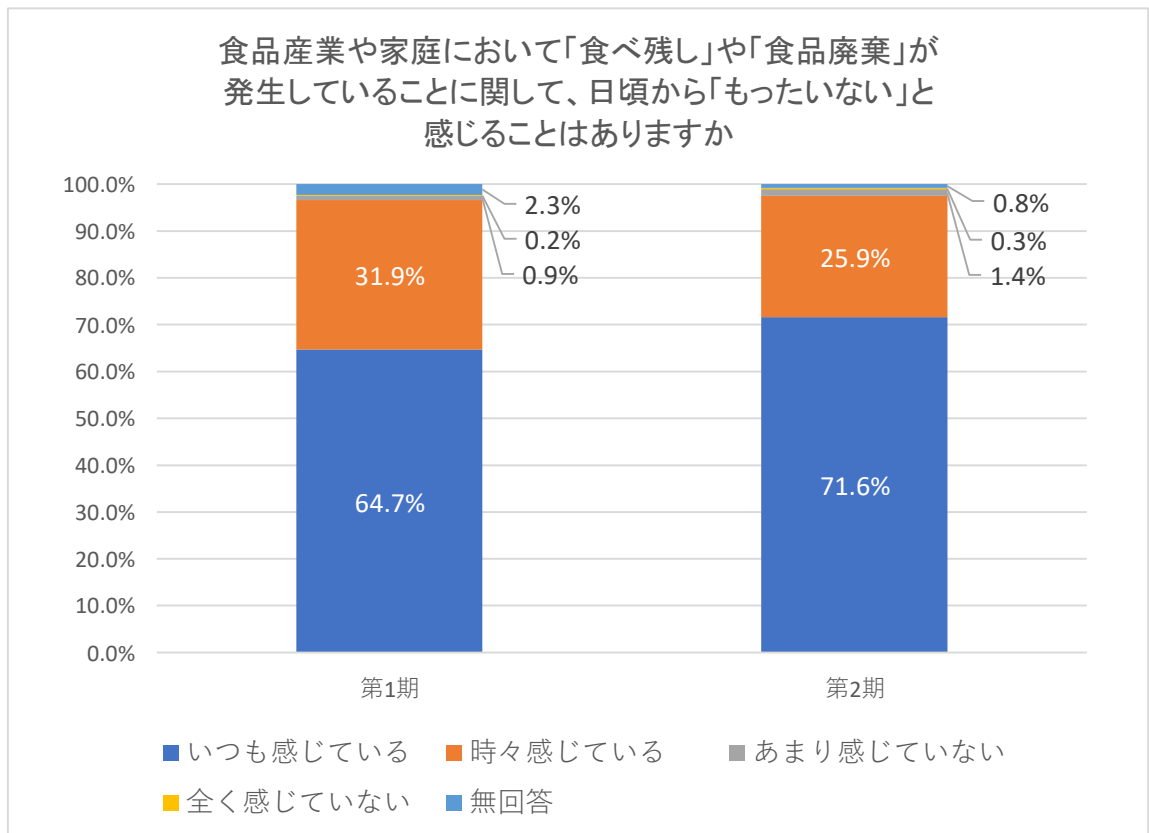
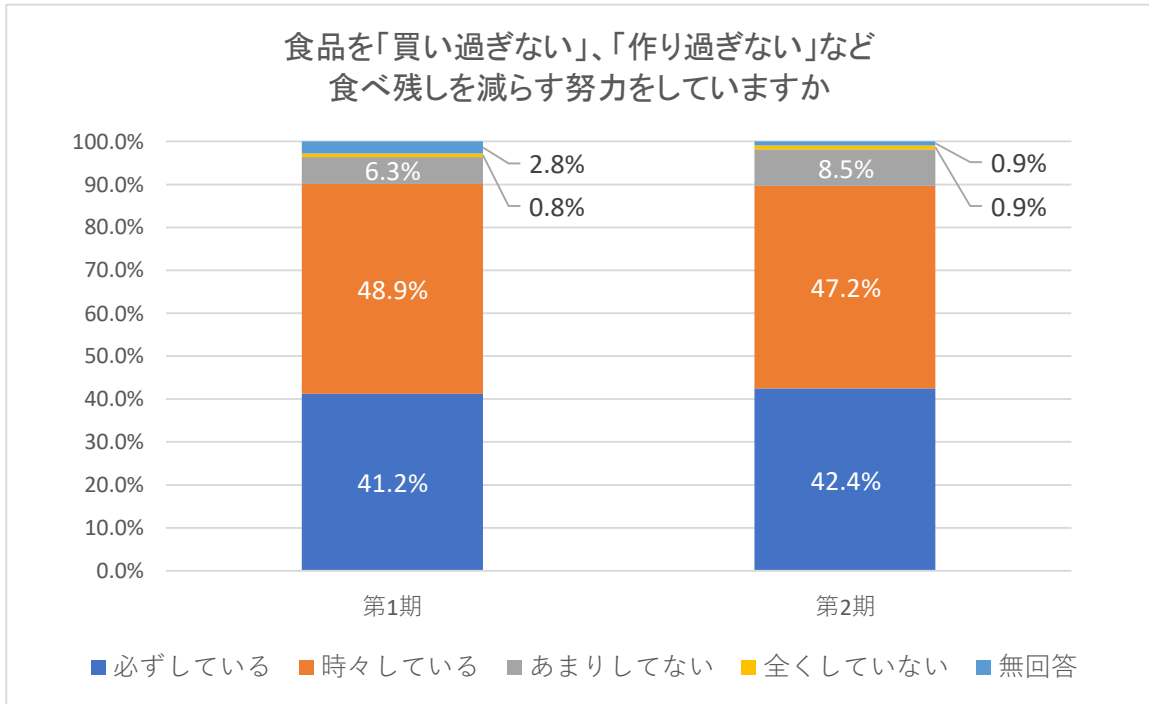
(5) 農林漁業体験について

農林漁業体験をしたことがある児童生徒は88.7%から63.4%に大幅減少した。体験の機会を望む保護者は71.2%から78.9%に増加した。



(6) 食品ロスについて

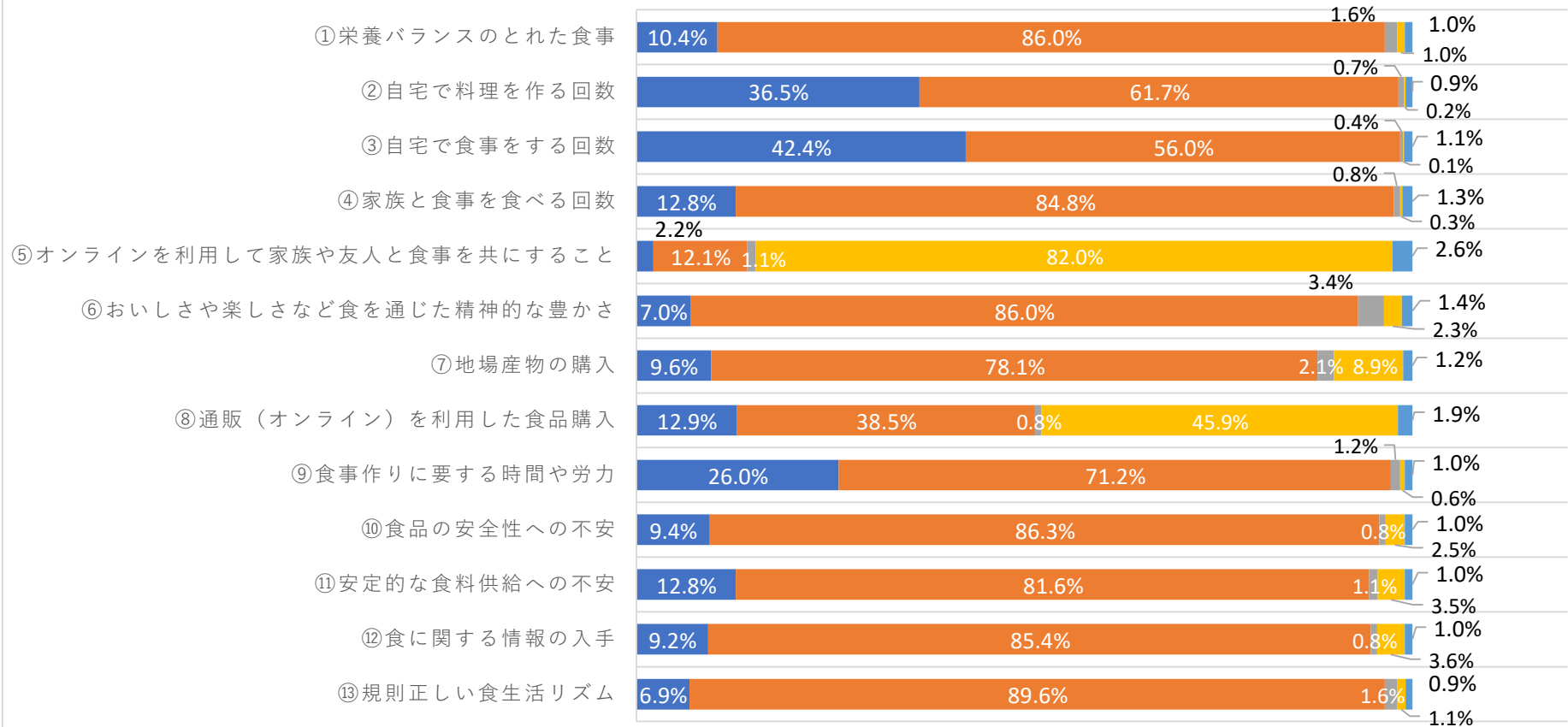
食べ残しを減らす努力をしている家庭は41.2%から42.4%に微増した。



(7) 新型コロナウイルス感染症の拡大による食生活の変化

あなたの世帯の食生活は、新型コロナウイルス感染症の拡大前に比べて変わりましたか

■ 増えた・広がった ■ 変わらない ■ 減った・狭まった ■ もともとない ■ 無回答



	増えた・ 広がった	変わらない	減った・ 狭まった	もともと ない	無回答
①栄養バランスのとれた食事	10.4%	86.0%	1.6%	1.0%	1.0%
②自宅で料理を作る回数	36.5%	61.7%	0.7%	0.2%	0.9%
③自宅で食事をする回数	42.4%	56.0%	0.4%	0.1%	1.1%
④家族と食事を食べる回数	12.8%	84.8%	0.8%	0.3%	1.3%
⑤オンラインを利用して家族や 友人と食事を共にすること	2.2%	12.1%	1.1%	82.0%	2.6%
⑥おいしさや楽しさなど食を通 じた精神的な豊かさ	7.0%	86.0%	3.4%	2.3%	1.4%
⑦地場産物の購入	9.6%	78.1%	2.1%	8.9%	1.2%
⑧通販(オンライン)を利用した 食品購入	12.9%	38.5%	0.8%	45.9%	1.9%
⑨食事作りに要する時間や労 力	26.0%	71.2%	1.2%	0.6%	1.0%
⑩食品の安全性への不安	9.4%	86.3%	0.8%	2.5%	1.0%
⑪安定的な食料供給への不安	12.8%	81.6%	1.1%	3.5%	1.0%
⑫食に関する情報の入手	9.2%	85.4%	0.8%	3.6%	1.0%
⑬規則正しい食生活リズム	6.9%	89.6%	1.6%	1.1%	0.9%